

3月の園だより

2020年3月
吉野幼稚園
園長 野田 弘之

主 題：良く育った

聖書のことば：「光の子として歩みなさい」

(エフェソの信徒への手紙5：8)



日一日と温かさを感じるようになり、少しずつではありますが春の訪れをかんじるようになりました。この時期は、「三寒四温」と言って、寒い日が三日くらい続き、その後温かい日が四日くらい続いて、寒い時期と温かい時期が交互にやってくるものです。そうやって少しずつ暖かくなり、春がやってきます。早いもので、今年度も残りわずかです。

いよいよ3月となりました。Aクラス(年長児)さんは、今月末には卒園して小学校へ入学します。また、Bクラス(年中児)さん、Cクラス(年少児)さんもそれぞれ1学年進級して、Aクラス、Bクラスとなります。子供たちの成長というものは、本当に早いもので、1日1日の変化では、それほど気付かないものの、今年の4月と比べるとそれぞれの子どもたちがいろいろな面で大きく成長しているなど思うことです。例えば、昨年4月は登園の時、お母さんから離れずに泣いてばかりいた子が、今はもう「お母さん、バイバイね、行ってきます。」と言って、すんなり別れることができるようになるとか、登園しても自分の身の回りの片づけができずに先生方に手伝ってもらっていた子が、今は年下の子どもを教えるまでになったとか、本当に見違えるように成長しています。このような一人一人の成長は、私たち幼稚園で勤めている者にとっても、大きな喜びです。各家庭におかれましては、年度末等に子供たちの成長を振り返る機会が多々あるかと思いますが、一人一人の子どもの成長をぜひしっかりとほめてあげてさらに伸ばしていけるように、ご配慮をお願いいたします。

さて、今月の聖句は「光の子として歩みなさい」です。「光の子」とは、聖書の慣用句みたいなもので、違いを認めることのできる心の広さを言います。人の良さを素直に認め喜ぶことのできる円満な人格を指す言葉です。それこそモンテッソーリ教育が目指している理想の姿です。

最後になりましたが、ご卒園ご進級おめでとうございます。親子ともども「光の子」となって「よく育った！」ことを祝う日々でありますようお祈り申し上げます。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

